

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



公式HPトップページ

- 本社所在地：東京都中央区
- 事業概要：
 - ①化粧品、食品、食料、医薬品や半導体用フッ素樹脂の輸出版売
 - ②国産の不適合ペレットを活用したリサイクルペレットの製造・輸出版売
 - ③国産ペレットの輸出版売
 - ④外国人向け遠隔医療サービスの提供
- 常時使用する従業員数：11名（2025年4月時点）
- 現在の売上高：19億円（2025年4月期）
- 法人番号：1011801023708
- Web：https://www.yamatojapan.co.jp/



代表取締役
高橋 翔太

『made in japan』を発信するトップランナー企業への成長

当社は、海外企業が日本企業との取引を検討する際に真っ先に名前が挙がる「日本と世界のハブ」となることをビジョンとしています。2009年の創業から、日本人のもつ丁寧さやお客様を第一に考える姿勢から生まれた高品質のmade in japan商品を世界に広げるため活動しています。現在は中国、北米、東南アジアの現地スーパーマーケットを中心に輸出取引を行っています。今後は、冷凍商品やシーフード商品を中心に取扱商品のバリエーションを増やしていきます。また、既存の取引エリアにおいてボリュームを増やしつつ、中東・EUエリアに販路を拡大していきます。また、国内のフッ素樹脂廃棄量削減を中心に“ムダ”を“価値”に変えていく取組を進めます。当社としても、千葉県と埼玉県を中心に倉庫・工場を設立し、新たな雇用創出や地域経済の活性化に貢献していきます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2036年に売上高100億円、2038年に114億円達成を目指します。
2025年～2036年の売上高を年平均成長率16.72%と設定し、売上拡大を図ります。（※参考資料 参照）

課題

- 現在の賃貸倉庫では、物理的制約による納品不足とコンテナ作業の非効率性による納品期間の長期化が課題となっています。そこで、**輸出商品の倉庫新設**により「機会損失の削減」と「納品スピード向上」を実現します。
- 各事業のデータを一元管理できるシステムの構築**により「生産性向上」を実現します。
- ペレット生産工場の新設**により、「生産数増加」を実現します。
- データを活用した仕入改善**により、「在庫コスト削減」を実現します。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

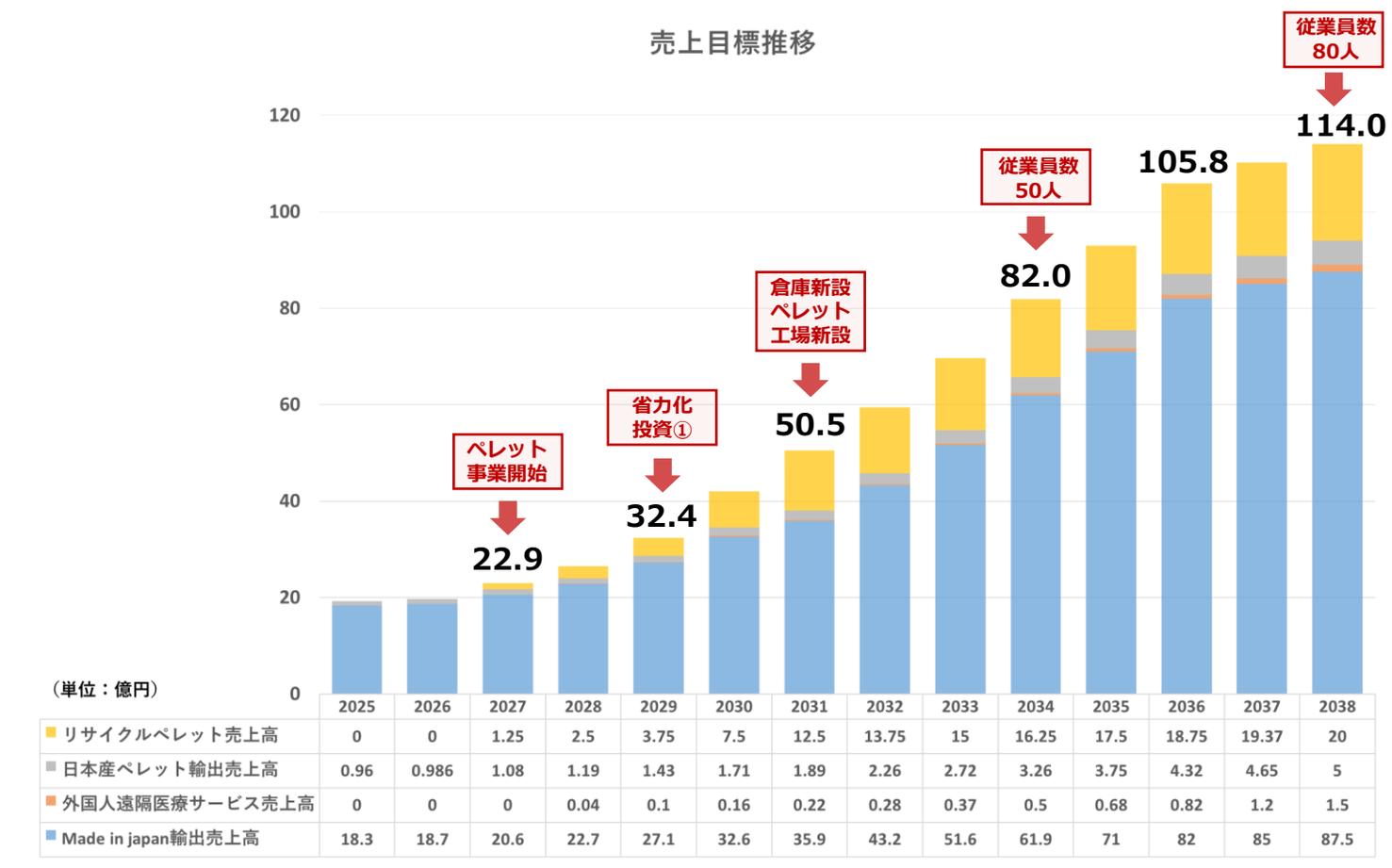
- 化粧品・食品医薬品・半導体用フッ素樹脂・冷凍商品等の輸出卸売事業**
 - ・国内倉庫拠点を建設し、在庫出荷の回転率を上げ、機会損失を削減
 - ・専用システム構築により仕入れの精度向上と生産性向上
 - ・冷凍商品・シーフード商品の取扱を開始し、商品バリエーションを拡大
 - ・中東やEUエリアへの拡大体制を構築
- made in japanのリサイクルペレット製造事業**
 - ・現在の1.5倍以上の生産を実現できる倉庫兼生産拠点の建設
 - ・専用システム導入により、大規模案件受注体制の構築
- その他**
 - ・2031年を目途に倉庫と生産拠点を新設し、販売・生産体制を強化

実施体制

- 化粧品・食品医薬品・半導体用フッ素樹脂・冷凍商品等の卸売**
 - 専用システムを構築し、引き合い～発送までの生産性と収益性を向上。利益率を高めつつ獲得した利益を原資に20人を採用し「営業」「経理・事務」「購買」「物流倉庫」の4部門を設立します。また、冷凍商品とシーフード商品の輸出版売について専属スタッフを4人採用します。
- made in japanのリサイクルペレット製造**
 - 新設する倉庫兼生産拠点において、積極的に生産スタッフと事務・経理スタッフを採用します。
- 全社**
 - 4事業において役職を整備し、各事業の収益管理を徹底します。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

（参考資料）売上高100億円に向けた成長戦略



100億
達成

【売上高100億円企業に向けた成長戦略】

- 現在（2025年4月期） 売上19.2億 営業利益2.3千万
・売上高100億円に向けた成長戦略策定
- 2027年4月期 売上22.9億円 営業利益5.9千万円
・made in japan製品輸出卸売専用システムの構築
・リサイクルペレット事業を本格的に開始
- 2028年4月期 売上26.5億円 営業利益7.2千万円
・倉庫兼生産拠点の新設で、在庫可能数300%増を実現
- 2029年4月期 売上32.4億円 営業利益9.0千万円
・ペレット輸出版売・製造販売専用システム構築
・ペレット製造用省力化設備の投資による生産性向上
- 2031年4月期 売上50.5億円 営業利益1.8億円
・リサイクルペレット生産工場の新設による生産量200%増と倉庫新設による在庫可能数200%増を実現し、中東・EUへの販売を強化
- 2034年4月期 売上82.0億円 営業利益3.7億円
・従業員数50人突破、専門事業部確立
- 2036年4月期 売上105.8億円 営業利益5.9億円
・売上高100億円突破
・ペレット製造工場に省力化設備投資を実施し、生産性150%増を実現

Point 2027年に開始するリサイクルペレットの製造販売はテストマーケティングを実施し、既に海外企業の取引先を確保しています。